

## 平成30年度 施策マネジメントシート【29年度実績評価】

作成：30年6月15日

施策番号 2-2-2	施策名 地域資源を活用した観光の振興	基本目標 農業と連携した活力ある商工観光の振興
主管課 施策関係課	商工観光課 企画財政課	課長名 紺野 裕 内線 411

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果
観光スポットの認知度向上を図るとともに、地域資源である「農業」や「食」「景観」などを活かした観光振興をすすめます。			町外観光客 観光資源(観光スポット)	・地域資源を活かした観光が図られる ・観光スポットが認知される ・観光による経済効果の拡大が図られる			・芽室町が道内・国内・海外に発信される ・交流人口の増で消費の拡大につながる
成果指標	説明	単位	年度(策定時)	28年度	29年度	30年度	
① 芽室町への観光入込客数	十勝総合振興局まとめ	人/年	204,100	200,700	198,800	216,700	
② 芽室町観光物産協会ホームページアクセス数	観光物産協会調査	件/月	3,000	2,300	1,800	4,000	
③ 新嵐山スカイパーク利用者数	商工観光課調べ	人/年	506,400	479,250	488,100	518,000	
成果指標 設定の考え方	①観光の振興するための目安となる成果指標に設定 ②観光のPRを図るうえで必要な成果指標に設定 ③本町最大の観光地である新嵐山スカイパークを振興するため成果指標に設定						

## 2. 施策の事業費

	28年度決算	29年度決算
施策事業費(千円)	236,184	167,712
人工数(業務量)	1.9073	2.0354

## 3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①平成29年度の成果評価 (前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①及び②とも前年度と比較し愛菜屋入込客数及びHPアクセス数は減少しているが、共にふるさと納税返礼品など地方発送の引き合いも多いことから、リピーターが定着化されてきたのが要因と考えるが、全体としては成果は向上した。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠 (理由)	・観光入込客数及び観光物産協会HPアクセス数については、天候不順が原因の年もあったが年々減少傾向にある。しかしながら、ふるさと納税返礼品の地方発送など引き合いも多いことから、リピーターの定着化が要因と考え、今後は地域資源を活用した新たな販路拡大及び観光事業展開など取り組む必要がある。 ・新嵐山スカイパークは、本町最大の観光地であるが、宿泊稼働率は31.2%と低調である。今後は運営の在り方を検証し、効果的、効率的な施設整備を進めることが必要である。

## (2)施策の成果評価に対する平成29年度事務事業の総括

①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	ふるさと納税特典贈呈事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業
	新嵐山スカイパーク運営支援事業	
	芽室町観光物産協会運営支援事業	
	発祥の地杯ゲートボール大会開催支援事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町外に向け芽室町をPRすることが観光の振興にとって最大の戦略である。</li> <li>・新嵐山スカイパークは冬期間はスキー場として、また、年間を通じては帯広の隣接町として高校生を対象とした合宿地として道外にも浸透し始めており、発祥の地杯GB大会では「芽室町」が発祥の地として確固たる地位を築いている。</li> <li>・近年では、ふるさと納税返礼品により、本町の特産品を選定・発送し、新たな魅力発信につながっており、衰退することなく、安定したPR活動がなされている。</li> <li>・しかしながら、当初設定した成果目標の達成は厳しく、今後は新たな事業展開が必要と考える。</li> </ul>	

### (3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した
			○			
※該当に○印						

### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	団体旅行が減少し、インターネットによる観光情報の入手が容易になり、個人ニーズに合致した観光の多様化が求められ、また、体験型観光のニーズの高まりを受け、芽室町を「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、経営戦略を実施するための調整機能を備えた法人「芽室版DMO」が必要とされる。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	・新嵐山スカイパークの今後の方向性 ・国民宿舎新嵐山荘の老朽化 ・サイクリツーリズムの事業展開

### 5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

①課題 観光物産協会の連携強化	地域資源を活かした観光・物産振興を推進する組織である観光物産協会への組織強化に対する支援を行うとともに連携を深め、収益につながる事業展開等、観光地経営に向け取り組む必要がある。
②課題 地域資源を生かした観光振興	本町ならではの食と景観を発信する手段として、芽室町独自の観光メニュー(サイクリツーリズムや就労キャリア教育観光事業など)の推進に取り組み、新たな魅力発信と人的交流の促進をはかる。
③課題 新嵐山スカイパークの利用促進	新嵐山スカイパークの利用促進を図るために、適切な施設管理を行うとともに、就労キャリア教育観光事業を一層推進し、高校生合宿や特別支援学校の修学旅行誘致に向け広報活動を実施し集客に努めとともに、民間活力も活用しながら滞在型・体験型観光の拠点となるよう検討を進める。

### 6. 総合計画推進委員会(府内評価)

評価	ふるさと納税特典贈呈は芽室町のPR、関係人口の増には繋がっているが、「観光による」経済効果拡大などの施策意図が達成されているとは言い難い。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	ふるさと納税特典贈呈は、芽室町についての認知度を高める効果はあるが、観光の振興についての成果につながるものではない。観光振興につなげるための取組や、新嵐山スカイパークの課題解決が必要である。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					

### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標の低下は外部要因による部分が大きいが、今後の取り組みを期待する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	●観光物産協会のホームページは、非常に情報が古く、観光の顔として改善が必要ではないか。 ●観光物産協会のホームページにイベントでの物販依頼に関するページがあると良い。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					